

特集：我々の教育システム情報学マップ：問いの体系化の共有に向けて

学習・教授のインタラクションに基づく 教育システム情報学マップのプロトタイプ

山元 翔*, 田和辻 可昌**, 林 佑樹***

Prototype-Map for Information and System in Education from a Viewpoint of Learning / Teaching Interaction

Sho YAMAMOTO*, Yoshimasa TAWATSUJI**, Yuki HAYASHI***

This commentary article discusses research of information and systems in education as problem solving for learning and educational situations by information and systems, and proposes the map representation of research focusing on interaction in learning and educational activities based on the definition. The Japanese society for Information on Educational Systems is a broad field of research that covers a variety of systems related to education and learning. Therefore, it is not easy to grasp the position of individual research on this field. We considered what this research field is exploring from the perspective of the education and learning situations. As the result, we obtained the design of a map that locates various research on this research field based on the viewpoint of “interaction” in learning and educational situations. A brief verification and example of use of this map will be described.

キーワード：インタラクション，人の学び，教育システム情報学，問い，体系化

1. はじめに

教育システム情報学会（Japanese Society for Information and Systems in Education. 以下、JSiSE）では、本分野のさまざまな研究課題が取り組む学術的な問いの体系化を目指した「教育システム情報学マップ」の構築を進めている⁽¹⁾。そのマイルストーンの一つとして、本解説では「人の学びの推定とその支援」に着目したマップ構築について、本分野の整理を交えて解説するものである。

JSiSE は、昭和 50 年に CAI（Computer Assisted Instruction）学会として設立され、平成 7 年に現在の名称に改称されている。それは学会が包摂する研究領域が、社会的要請や情報技術の進化とともに飛躍的に

拡大したことが理由であるとされている⁽²⁾。本学会 Web サイト⁽³⁾の学会概要においては、およそ教育・学習に関わるシステムに関するあらゆる研究が対象とされており、こと教育・学習に係るさまざまな学術的情報を扱う幅広い領域を対象とした学会であるといえる。これは本学会全国大会などで用いられる領域区分を示すカテゴリ表⁽⁴⁾（年度ごとに更新）を見ても明らかである。

一方で、「教育システム情報学」とはどのような学問であるのか、この学問領域で展開されてきた研究課題はどのように位置付けられ、また発展すべき必要があるかについては、厳密な定義や共通認識が必ずしもあるわけではない。教育・学習という対象もさまざまな分野の方が取り組むことが可能な対象であり、さま

* 近畿大学情報学部（Faculty of Informatics, Kindai University）

** 早稲田大学データ科学センター（Center for Data Science, Waseda University）

*** 大阪公立大学大学院情報学研究所（Graduate School of Informatics, Osaka Metropolitan University）